

局長

課長

局長



昭和十一年四月

湖屋

一三

昭和十一年三月

三月十一日

(888) 100

三二機A

大本機海軍部... 昭和十一年三月十一日

機號

機號〇一二〇四三號

二八ノ一、二

南極方面調査機

第二方面軍機

第七方面軍機

一、機中... 昭和十一年三月十一日

昭和十一年三月十一日

傍

受信一五四〇〇 譯丁一五一五 電〇〇二九七 海作區 護

二艦隊

二艦隊

聯合艦隊 各艦隊

軍機

機密第〇一一〇〇〇番電

艦隊區分ヲ左ノ通改ム

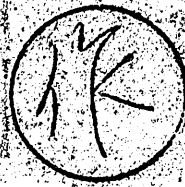
戰隊番號 艦船番號ノ順

- 第一戰隊二一大和 長 (一小隊) 榛名 (二小隊) 第一航空戰隊二
- 三 第二水雷戰隊二四。

海軍 三二〇 呂一A B 泉

第十

機密



受信一七四五  
開始一八一〇

譯子一八三〇

電〇〇三四一

作 概〇

支那方面艦隊

支那方面艦隊各戸

海上護衛總戸・聯合艦隊戸

機密第〇一一二一七番電

支那方面艦隊司令部第八六三號

南支部隊指揮官海南島部隊指揮官上海方面部隊指揮官北支方面部隊指

揮官、海上交通保護並ニ對潛作戰ニ關シ海上護衛司令長官ノ指揮ヲ受

クベシ

通三五八 呂三A (一四九三〇K) 上陸

親要  
急

一二 受信  
三 開始  
〇二五三  
〇〇一五  
譯了 〇〇四五  
電 〇〇九六二 作 概 〇



● 香 取 航 空 基 地

● 聯合艦隊口。第三航空艦隊口。第六艦隊口。



機密第 〇二一九五五番電

發 第四艦隊參謀長

宛 一 K F G B 指揮官

一 飛行隊形雲格萊員 (指揮官)、病氣ノ爲明三日ノ P U 偵察ヲ延

期ス

期日ハ更メテ通知ス。

通九八八 呂三A (五二三五IC) 四通 永嶋 (小田)



緊

急

一三 譯始 ○二二五 譯了 ○六〇〇 電〇〇九六一 作 〇

局長	大	護	參	平	王	部	部
聯合	護	參	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部
部	部	部	部	部	部	部	部

通信隊



暗號軍機

機密第〇二二三一〇番電

發 G R R 參謀長

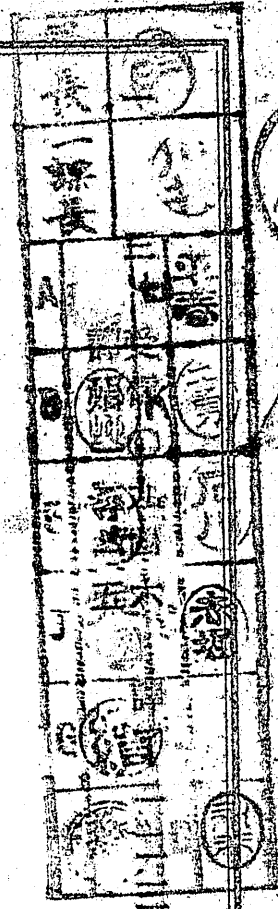
一 尙武集團司令部ハ三日ムルガソ航空基地「カモボ」發「バギタ」

ニ 移動M M 方面陸軍部隊ハ第八師團長之ヲ統一指揮「振武集團」

呼稱「スルコトナレリ」

ニ 眞大和國モ近ク「クラー」ニ移轉ノ模様ナリ。

通一〇六一 呂四A (四二七〇K) 卅一週 永嶋 (小野田)



作戰緊急

親展

第一潜水部隊 (先遣部隊)

大本營海軍部・東通  
一聯通・聯合艦隊中

機密第〇三〇八一三番

暗號軍機

EB電令作第三號

伊號第三六潜水艦伊號第五三潜水艦伊號第五八潜水艦  
ノ夫々第一攻撃地區トス。

通一一九五 局一A (五二九五七) 六艦隊中放

海軍

共

符

〇〇一〇六六

特

作〇

第十信課

局長					
一課長					
A					
B					
C					
D					

一三 受信 六二〇 一七〇二 電〇一二二三 作概〇・D部  
 開始 六四五

無線艦所用共通符號



第一潜水部隊

大本營海軍部・東通・聯合艦隊口・吳通・四艦隊口  
 七基地航空部隊・一聯通

無線符號 C 三 一 三 三 一 番電

發 任 B 指 揮 官

通 報 一 時 基 司令 官

機密先遣部隊命令作時第二號中伊號第四八潜水艦ノ内海西部出發期日ヲ

一月九日ニ Y 日ヲ一月二十一日(攻擊時機二二〇〇乃至二四〇〇)ニ改

△。

通一四四六 呂一A(五二九五K)六日口放

局長	一等長	A	L	K	I	J	C	D
一等長	二等長	B	M	N	H	G	F	E
三等長	四等長	...	...	...	...	...	...	...

第十課

至急  
親展

一四 受信二一四五 譯了〇七一五 電〇二〇九五 補人◎  
譯始〇六五〇

東京通信隊  
聯合監隊

機密第〇四一六〇五番電

發 南西方面艦隊參謀

臺北在勤武官機密第〇一一五三四番電

南西方面艦隊司令部附參謀石井(一六三四)同安部(二三〇七)  
殉職ノトコロ戰局ノ逼迫ニ鑑ミ水上特攻ノ活用上必要ニ付急補充  
發令配慮ヲ得度。

通二二五五 呂二Aヶ三(四二七〇KC)三一通 海軍



急展

作戰緊急

一四 受信 二〇二〇 譯了 二〇四八 電〇一八九二 作概 〇

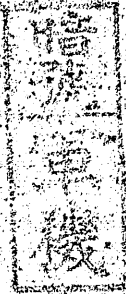


第一潜水部隊 (先遣部隊)

大本營海軍部

東京通信隊・聯合艦隊口・四艦隊口  
第七基地航空部隊・一聯合通信隊

機密第〇四一六三五番電



宛 金剛隊

日 電令作第四號

又 日ヲ一日延期ス

通一二〇三

呂一Aケ三 (五二九五KG) 六P放

V

五

受信一三二六  
譯始一三四五

譯了 一四一〇

電〇二二五八

作 概〇

聯合艦隊各戸

大海上護衛總戸・支那方面艦隊戸  
各鎮各警

機密第〇五一二三一番電

G F 電令作第四六〇號

G F 第三段作戰兵力部署 (機密 G F 命令作第一〇〇號別表) 中機動部

隊ノ項ヲ削除ス。

通二五九六 呂二A (B) 聯合艦隊戸 山田 (吉田)



緊急 親展

受信一六三〇〇 譯了一七四〇 電〇二三三八 特作〇

第一機動基地航空部隊△・一聯合基地航空部隊△・四艦隊口  
大海參一部・三航空艦隊口・南西方面艦隊口・六艦隊口

機密 〇五一四四三番電

陸 〇 參謀長

第二次支作艦×日及×日ハ一日延期セラレタルヲ以テ偵察モ一日宛繰リ繰下グ實施サレ度。

通二七〇九 呂二△ケ三(日) 〇 〇 〇

海軍

第十倍線

親展

作戰緊急

一五

受信了  
二二一  
二〇一  
八〇九

〇二四七四

作  
〇

三  
一  
通

九〇六空・九三六空

次官・六艦隊P  
次長

暗號軍機

機密第〇五一九五〇番電

NSB電令作第三八號

一、在ルソン九三六空（舊九三三空）及九〇一空（舊九五四空）隊員

ハ一月六日〇〇〇〇以降本職之ヲ指揮ス

二、右部隊ハ右時刻以降地上防衛ニ關シ夫々所在地海軍地區防衛部隊  
指揮官ノ指揮下ニ入ルベシ。

通二八二七

呂一A（四二七〇KC）卅一通

五 受信一六〇四五 譯始一六五〇 電〇二三五八 作 概〇

親 緊 急  
展 展

南東方面部隊口

大海參一部・四、六艦隊各口・第三航空艦隊口

暗號  
軍機

機密第〇五一四三一番電

發 參謀長

聯合艦隊機密第一八一—一四二番電ノ偵察ヲ左ノ通改メ實施サレ度  
第二次一月九日又ハ十日 第三次一月十二日尙能否至急知ラサレ度。

呂三A ( B ) ( G ) ( H ) ( I ) ( J ) ( K ) ( L ) ( M ) ( N ) ( O ) ( P ) ( Q ) ( R ) ( S ) ( T ) ( U ) ( V ) ( W ) ( X ) ( Y ) ( Z ) ( )

親展  
作戰緊急

受信二二〇八  
譯始二三五五

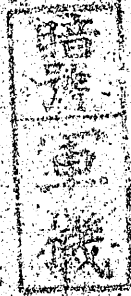
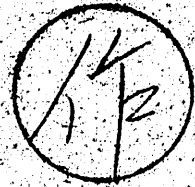
譯了〇〇二五

電〇二五七九

作 概〇

● 總無線艦所用共通符號

● 東京通信隊



機密第〇五一八二八番電

發 龍鳳艦長

宛 G F 參謀長

中比方面ノ敵情ニ鑑ミ丸大兵器ヲ速ニ臺灣ニ揚陸ノ要ナキヤ今夜  
發動セバ明日夕刻入港日出迄ニ危險物ノ揚陸完了ス。

通二八六一 呂二A (四七〇五KC) 高雄 石垣 (標 澤)

緊急親展

緊急親展

一 五 受信二三四二 講始〇〇四五 請了〇一一五 電〇二五七八 作 概〇

第四、六各艦隊各戸・三航空艦隊戸・八驅逐隊

暗號軍機

機密第〇五二〇三六番電

發 NTF 參謀長

貴機密第〇五一四三一番電關聯

貴電通り速ニ實施ノ豫定ナルモ最近敵ノ警戒嚴重ナルト天候不順ナルトニ鑑ミ指定期日ノ偵察ニ多少不安アリ。

通二九三一 呂三A (四八四五) 八通放

一六 受信 一四二〇 譯了 一五〇〇 電〇二八五四 作概〇

香取航空基地・聯合艦隊  
三航空艦隊F・六艦隊F

機密第〇六一二二〇番電

發 四F參謀長

宛 一KFGB指揮官 GF參謀長

機密一KFGB命令作第三〇一號ニ依ル

X一日ノPU偵察ハ天候不良搭乗員痲氣等ノ爲延引シアリ明七日實施  
不可能ナラバ之ヲ取止メX二日(九日)實施ノコトト致度。

通三二二二二 呂三A(一七六三〇)四通 古屋(岡崎)





局長	第一部長	第二部長	第三部長
A	B	C	D
E	F	G	H
I	J	K	L
M	N	O	P

二七八二

符 (作護) 概 ○

第一護衛艦隊 P・高警

龍鳳 大海參一部・第七艦衛船團 P (神威) 基隆防備隊

機密第〇六一二三四番電

發 GEB 參謀長

龍鳳 (一七〇〇) ハ明七日午後基隆ニ入港ノ豫定ノ處作戰上是非共  
入泊ノ要アルニ付速ニ掃海ヲ完了セシメテレ度  
尙特ニ航路指示ニ關シ最善ヲ致サレ度。

通四二六 呂一Aケ三





一七 受信開始〇〇七二九 譯了〇九二五 電〇三一三一 作概〇  
運本

第一八戰隊

海上護衛總口・佐鎮

大支那方面艦隊口・軍務局・聯合艦隊口

機密第〇六一六五〇番電

機雷部隊戰鬥概報第九號

一月六日支那東海第五機雷礁第二次敷設終了故障機雷浮出一敷設  
基點北緯三一度三六分東經一二七度四八分列線方位二二〇度列線  
二九籽深度二三・一三米。

通三五六一呂一A) B) (佐通

人



作戰緊急

親展

局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長	局長
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八
第一	第二	第三	第四	第五	第六	第七	第八

電報 〇〇〇  
電話 〇〇〇  
六五四



第十部

- 東京 通信隊
- 三 一 通信隊
- 各人等部 (除電報 電話) 一、二 航空隊各員

陸軍機

機密 〇六二二三二九 電 三分ノ一ニ三

發 第五補充部長

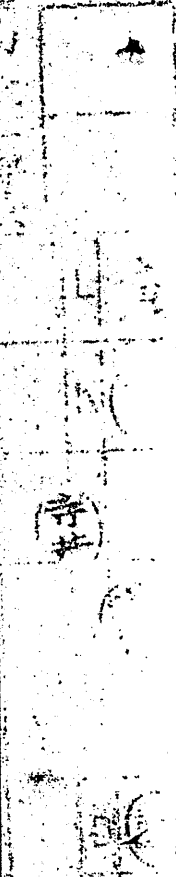
宛 人事局長

通報 南西方面艦隊司令長官

貴機密 第二六二〇一七番電圖轉

當方面戰局通過現地輸送極ノヲ困難ニ付南西方面艦隊其ノ他關係各  
部協議ノ結果一先ソ左ノ通り員可致御了承テ得度

通三五六一 三七三八 三七五五 呂 A (八八八四) 三一 通 海 軍



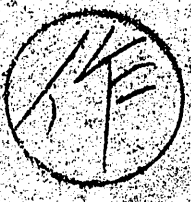
昭和十一年

一 大連一部 軍務機密第二五一五七七番 二 依ラタライ夕警備隊  
 要員約七〇〇 北菲空缺員中約三〇〇計一〇〇〇 現ニ同地區戰備  
 作業派遣員ヲ以テ充當ス  
 三 サンフエルナンド 駐下 防備部隊各約三〇〇程度 (既派遣)  
 四 連溪地隊約三〇〇 (既派遣)  
 五 マニラ地區防衛隊隊員中約九〇〇 (既編成)  
 六 在マニラ各部隊各應急遠征備増強警衛等南西方面艦隊命令ニテ派  
 遣サレ居ル者 (約一三〇〇名) 各派遣處へ一時轉勤  
 七 目下純留員約七〇〇 豫備増強部隊トシテ全員第三十一特別根  
 據地隊ニ一時轉勤  
 八 艦ニ他へ應勤發令済ノモノト雖モ淺間丸 さんとう丸 明隆丸  
 菱形丸ノ例ニ依リ内地下ノ輸送見込ニ立タズ歸還不可能ニ付全員  
 轉勤ヲ命メ尙當補充部補缺員ヲ戰局ニ據リ總テ三十一特別根據地  
 隊員ノ他各部へ一時轉勤ヲ命メテ豫定

海軍

作戰緊急

一八 受信〇〇二三〇〇 譯了〇四三〇 電〇三六四七 航概本〇



一聯合基地航空部隊 二〇一航空隊 第一五三航空隊

機密第〇六三二三八番電 二分、二

三、飛行機來襲狀況

〇九三〇B二五、二四 十二機來襲飛行場 銃爆戰果被害多シ 其ノ他船園上空直衛ラシキ小型機數機數回通過昨日比シ閑散ナリ 四、飛行機搭乗員現狀零戰一、一、一、四零(一符字受撃)二、二、二、二、二月光一、二、三、三。

〔電信課註 本電二分、一未着〕

通四〇五四 另Aラ十八(六七〇五IC) 高放 廣田(榛澤)

作戰特別緊急

一六受信 〇四二二 譯了 〇四五五 電〇三〇六九 作概 〇  
開始 〇四三六

海 南 部 隊

海 南 警



東通・高 通・二遣支艦隊口・

機 第 〇 六 二 二 四 六 番 電

本電軍機

通報者 次官 次長 高雄警長官

海警信電令作第一號

一、陸軍ヨリノ情報ニ依レバ昨日敵機動部隊（空母五其ノ他艦艇五三）〇

八一五ヨリ一〇〇ノ間ト島ルパン島附近ニアリ本島來攻ノ算アリ

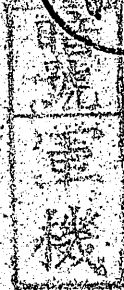
二、航空部隊ハ明黎明ヨリ司令所定ニ依リ本島東方及南方遠距離哨戒ヲ實施

スベシ

三、各部隊ハ敵KDB遊撃ニ對シ警戒ヲ嚴ニスベシ。

通三五二三

A (四〇四五) 上海



一七 受信始一〇九二五 講丁一〇二〇 電〇三二二九 作概〇

横須賀通信隊

無線電機所用共通符號

機密第〇七〇八〇五番電

發 第四艦隊參謀

宛 第七潜水戰隊參謀

十二月一日以降AA來襲情況

〇八〇〇一〇〇〇 每日大型機一機(二月十二日三十日各B二五

六機PBM一機七月二十日來襲機ナシ)

通三六〇〇 呂三A(一七六三〇EC)四通



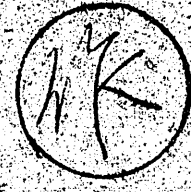
人

緊急

七話受一二五八

電〇三二二六

参作  
概本〇



横 鎮・第三航空艦隊 (木更津航空基地)

東京海軍通信隊・第一航空戦隊 (香取航空基地)

機密第〇七一二三三番電

通報 軍令部第一部長 海軍省軍務局長 東部軍司令官

電令作第四六二號

横 鎮口 及三 陸軍始ノ觀兵式當日左ニ依リ哨戒 (對空ヲ含

ム)ヲ實施可シ (部隊、哨區、哨戒線進出距離、測定、哨戒開始時刻

ノ順)

三 A F 區 一八、二〇、二二、二四、二六、二八

五〇〇 左折五〇〇

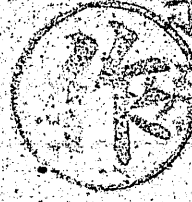
〇

0011

横 録

三〇〇 區 (基點 前崎) 三〇二六、二八、三〇、三二、三四、  
 三六、三八、四〇  
 三〇〇 澗 右折五〇澗 〇五〇〇。

親張



暗号機

一七 受信一九一四 譯始二〇五〇 譯了二一一〇 電〇三三七七 作部〇

無線艦所用共通符號

大臣・大海參一部・佐藤・一潜水隊ノ・六艦隊口・一潜水戰隊  
伊四〇一・伊一八三

機密第〇七一三〇〇番電

伊號第十三潜水艦長

内海西部ニ向ケ吳一三〇〇發

通三八六四 月一△ケ三( B ) 吳 山口( 飯生 )

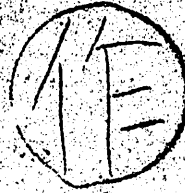
作戰緊急

一八  
受信一七〇八  
譯始一七二三

譯了二八五〇

電〇〇三九〇六九

作概〇



クラーク第一聯合基地航空部隊戰鬥司令部  
大海參一部・聯合艦隊中・第三二通

機密第〇七一八一六番電 二分ノ二ニ

發 南西方面艦隊參謀長

一、戰況推移ノ如何ニ依リテハ「ツゲガラオ」  
「エチアゲ」方面ヲ主  
基地トシテ航空作戰ヲ繼續スル必要ヲ生ズベキヲ以テ陸上輸送可  
能ナル現段階中ニ貴艦隊司令部及地上ノ各一部ヲ同方面ニ急速疎  
開シ次期作戰ニ備ヘ置カレ度内意ナリ

通四二八三  
四三六八

呂一A(八八八四)三一通

萩原(太田)

- 二、右二機、當司令部ヨリ左記人員物件ノ轉用可能ナリ  
送信機三（短三、短四、短五各一）在マニラ）  
受信機一五（クラーク兩西方面艦隊司令部用）  
無線工員一三（在 サンプエルナンド）
- 三、陸上輸送ニ對スル協力ニ關シテハ海軍各廳共ニ餘力ナシ  
陸軍ニ關スル要望ハ當部參謀副長（マニラ戰鬥司令部）宛連絡アリ度。

局長	副局長	參謀長	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀
參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀	參謀

緊急  
急展



暗號機

六艦隊 F・二七航戰 A

聯合艦隊 F・四艦隊 F・三航空艦隊 F・?

機密第〇七一八一七番電

發一 K F G B 指揮官

支作戰協力艦隊二 P S・G 偵察 F 一 一 雲二機ノ行動豫定左

八月一〇〇〇香取發 N M E 進出九月〇六〇〇 N M E 發 P S・G 偵

M E 歸投。

通三九三七

日三アラ六

美崎 (機上)

香取航空基地

〇三四五四 作機〇

親筆

作戰緊急

一八 受信一一五〇七 譯了二二一〇 電〇三七三〇 作概〇



聯合艦隊司令部

大海參一部・クラーク第一聯合基地航空部隊戦闘司令部

機密第〇七二二二六番電

發 南西方面艦隊參謀長

櫻花隊ヲ臺灣方面ニ進出セシメラルル時機承知致度。

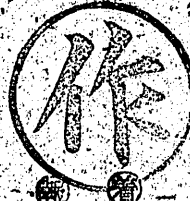
通四一八七 呂一A(一四九三〇〇)三一連

一八受信 一三四七 譯了 一二四五 電〇三六九八

戰艦作  
力政・概  
部〇

作戰緊急

無線艦所用共通符號



大海戦力補給部・聯合艦隊口・南西方面艦隊口

一航空戦隊口・一聯合基地航空部隊各口口・二一航空戦隊口

機密第〇八〇八〇三番電

發 龍鳳艦長

丸大兵器全部（五八事分）揚搭發送完了ス。

通四二〇一 呂二A 一三五二〇 高通 佐瀨（岡 崎）



親筆  
機密

一八 受言一三四八 了 一七一〇 電〇三七九四 整 施  
開始一五一五

● 二十七航戦

● 軍令部第二部・横通・父島方面根

機密第〇八〇八三〇番電 二分ノ二

發 母島警備隊司令

受報者 横須賀鎮守府參謀長 海軍水雷學校

大海機密第〇六二一二〇番電關聯

震洋隊一隊兵力 艇五五隻人員准士官以上隊長外七名下士官兵一八

〇名 艇格納ニ要スル建築物幅二五米高サ三米長サ約四〇米ノモノ

六隻分ニテ六米ノ八乃至一〇本他ニ居住施設及(食糧)需品等ノ格納裝

備設備ヲ要ス 南附近西附近北ノ鼻附近立鼻附近ヲ基地トシテ使用

可能ナル旨小笠原諸島方面築城報告(得居登中佐)在(長崎)

通四二四五、四二五五 呂一Aケ三(一〇二〇〇C)父通



緊急  
親展

陸軍省  
始末  
一〇三三  
四四五

丁二一〇五

〇三六四八

海軍省  
作

改政〇

● 陸軍省所用共通符號

● 大正七年度海軍省各口・二年度各口・一年度各口  
大正七年度海軍省各口・二年度各口・一年度各口  
大正七年度海軍省各口・二年度各口・一年度各口

暗號軍機

機要第〇八〇八三五番

機一七DG司令

當該機要第〇八〇六三七番種中松島丸ヲ海邦丸ニ訂正ス海邦丸損傷  
殆下無ク航海ニ差支ナシ。

海軍省  
機要第〇八〇六三七番種中松島丸ヲ海邦丸ニ訂正ス海邦丸損傷  
殆下無ク航海ニ差支ナシ。

海軍

第十部  
保

暗號軍機

作戰特別緊急

一八 受信一四〇四 譯了二五一〇 電〇三七三二 航本 概〇

東港航空基地・カナカオ水上基地

ニコルス第一航空基地

機密第〇八〇九三七番電

發 參謀長

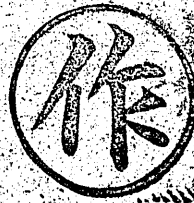
敵情竝ニカナカオ基地ノ能力等ニ鑑ミ當部除電令作第一號ニ依リ輸送任務ノ實施ハ左ニ依リテ度

一、カナカオ基地着(發)時刻ヲ第一番機二二〇〇(二三〇〇)第二番機二三三〇(〇〇三〇)トシ以下之ニ倣フ

二、カナカオニ於テハ燃料搭載ヲ行ハズ  
三、マニラ灣進入時ハ昧方夜間戰鬪機ノ願慮上可成低高度トス。

通四二五九 呂二A(八八八四K)三十一道放 三浦(雨 谷)

機密



一八

局長	課長	課長	課長	課長	課長	課長	課長
A	B	C	D	E	F	G	H

受信開始 一〇三〇〇 丁 一三三三三 電 〇三六九六 作概〇

● 香 取 航 空 基 地

● 第六艦隊 第二七航戰

● 大海參一部 聯合艦隊 第三航空艦隊

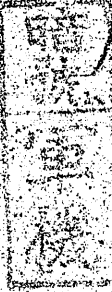
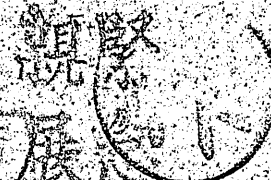
機密第〇八一〇三三番電

發 一 K F G B 參謀

宛 參謀

當艦隊香取航空基地機密第〇七一八一七番電中 P S G 偵察 G 偵察二訂正

通四二一〇 呂三 A 六 一 E 木更津基地



一八  
開始一七三〇  
了了一八一〇  
電〇三九〇五  
航作

● 香取航空基地

● 二十六航戦

● 第一航空監隊口・北菲空

機密第〇八一二一〇番電

發 一五 F G B 參謀

櫻花部隊作戰ニ際シ「ラオアグ」「アパリ」「ツゲガラオ」ヲ機動

基地トシテ使用セラルルコトアルベキニ付左記速報ヲ得度

一 燃料保有量

二 燃料補給能力

三 所在地上勤務員

四 滑走路ノ碾壓鋪裝ノ狀況

五 通信施設及人員ノ現狀

適四三七二 呂二A(B) 木空基地 永坂(雨谷)



一九〇〇 受信 〇八二九 譯了 一二〇〇 電 〇四七 八

參作  
本概  
〇

海 南 警 尸

支那方面艦隊尸

東 通・聯合艦隊尸・第二遣支艦隊尸

機密第 〇八一七〇四番電

通報 大海參一部長

大海機密第 〇四一一一七番電 關聯

進出部隊？混成旅團（歩兵四ヶ大隊砲兵二ヶ中隊工兵一ヶ中隊總兵力七五〇）ヲ以後逐次？來週ヨリ渡行ノフトニ打合セズニ之ガ

輸送ニ關シテハ二〇日ノ積極的協力ヲ得度。

東通註 本電再送ノ爲遲延。

通四六七三 呂二A（一四九三〇K）上陸

作戰緊急

一八、受信始二〇九五 譯了二〇四五 電〇三九〇四 作概〇

● 南西方面艦隊



● 大海空一部・クラーク第一聯合基地航空部隊戦闘司令部



機密第〇八一七三六番電

發 GF參謀長

書機密第〇七二二二六番電返

（機密第〇八一四三八番電作成替）一月下旬ノ見込ナリ。

通四四一三 呂二A) B) C) F) D)

緊急

一九  
受信 〇〇三〇一〇  
譯了 〇九〇〇  
電 〇四〇八八

整  
運輸  
人事  
監政

三亞電信所

東京通信隊

佐通、吳通



機密第〇八二一四六番電

發 海南警備府參謀長

着信者 大海參一部長・軍務局長・戰力補給部長

通報 運輸本部長・人事局長・吳人事部長・佐世保人事部長

航本機密第〇七二一三〇番電及海警機密第〇七一〇二三番電關聯

現情勢ニ鑑ミ本府防空配備強化緊要ト認ムルニ付 榆林ニ陸揚ヲ完

了セル左ノ防空兵力等ヲ本府ニ配屬ノコトニ變更方至急御取計ヲ得度

第一三八防空隊（吳）高角砲隊田中（少尉）隊龜田隊後宮隊田中（兵

曹長）隊鈴木隊計五隊（以上佐世保）魚雷艇一隻同要員。

通四九 呂二A（四〇四五〇）上海 板





作戰緊急

一九八〇 信始 〇四〇〇 〇五〇〇 諱了 〇九〇〇 電〇四一四三

航作 概本〇

外南洋部隊(除第七潜水戦隊) 南東方面作戦部隊、南西方面部隊各部隊

第六潜水戦隊

暗號電機

機密第〇九〇〇一 二番電

第二八航空戦隊司令官

在臺中航空基地第二八航空戦隊九六式陸上攻撃機(五號機)機長

通稱 GKF長官 一 GFCB長官 第二一航空戦隊司令官 高雄警備

府司令長官 人事局長

高雄航空基地ニ移動待機シ高雄昭南間飛留中將ノ輸送任務ニ當レ。

(東通註 本電問合セノ旨運紙)

通四六〇六 呂一A (六二三五)十通 電波(小野田)

受信一八五五

譯了二〇四五

電〇五三九八七

航作

概

三一通第五分遣隊

機密第〇九〇〇五八番電

二分ノ三二

發 南西方面艦隊參謀副長

宛 南西方面艦隊參謀長

一月八日當地ニ於ケル處置事項及一般狀況左ノ通

一處置事項〇及〇ヘノ豫定ノ疎開ハ取止メタリ

云一般狀況

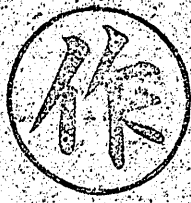
- (イ) 慶州丸三亞灣ニ向ケ一六三〇モトブーシ島發
- (ロ) 廣參謀歸着報告

通六一二二 六一四四 呂二A (B) (C) (D)

- (一) 「クラーク」地區航空部隊ハ七日以降全カヲ擧ゲ陸上作戰ニ轉移セリ數日ノ餘裕アラハ三個月分ノ糧食及六〇〇挺ノ機銃ヲ築城陣地ニ搬入可能ニシテ士氣旺盛ナリ
- (二) (バンバン)以北敵機ノ攻撃ニ依リ自動車ヲ被害極メテ大ナリ(七日迄約五〇臺)
- (三) 「C.F.A.B」現有搭乗員約三〇〇組
- (四) 「ゲガウオ」基地ハ今後戦闘機特攻隊ヲ配備セラル現有燃彈二五番通約三〇燃料零(陸軍不詳)
- (五) 今朝M.Mニ向ケB基地發ノトラツターニ臺ハ「ガルンピット」附近橋梁破壊ノ爲遭難途中「クラーク」ニテ燃料補給ノ上B基地ニ向ヘリ(連絡員村上主兵長談)
- (六) 「マニラ」附近本日ノ空襲狀況  
 B-1 二九 四二 飛行場 戰果撃墜B-2 四 一機 被害輕微

親展

一九三五年三月三十一日 電〇四三〇七 作 概〇



支那方面艦隊口  
大海參一部・海上護衛總口

機密第〇九一二四番

發 聯合艦隊參謀長

大海機密第〇八一五二四番電關聯

上海方面ヨリ廣東方面へノ陸軍部隊ノ輸送及護衛計畫ノ大要並ニ被輸  
送護衛ノ爲支那方面艦隊以外ノ部隊ヨリ増援ヲ要スル兵力(時期)知  
ラサレ度。

通四八三五 呂四A( B ) 聯合艦隊口

通四八三三、呂二A(八八八四KC)三一通

N S B 電令作第七號

九五五部隊指揮官、零偵二機ヲ以テ二A P 司令部ヲ西貢ニ輸送スベシ。

機密第〇九一二一〇番電



第一航空艦隊口、南西方面艦隊口、聯合艦隊口、三一通五分遣、一一根ア

作戰緊急

局長	親展	九	受信
一課長	出	五	始一四三〇〇
福地	王勇	五	譯了、一四二〇
寺井	赤坂	空	電〇四二六五
三			
晴			
一			

通

航作

概本〇

# 傍

開始一八〇〇 課一八四五 電〇四四〇二 特 作〇

作要要金

## 親

● 三十一通信隊第五分遣隊

## 暗號軍

● 機密第〇九一二三〇番

局長 一課長

局長	一課長	A	L	主務
		B	K	二課長
		E	I	
		J	C	
		G	H	
		F	D	

後方に於て、在り、疎散移轉方針及現地自給自活機勢確立二國入を併  
 和歌山（昭和十九年十二月二十九日決裁）ニ基き茲に海軍軍属ノ三〇  
 〇〇名トシテ其内四四〇（一二〇〇〇名）ニ基地一組ノ三〇〇〇名）  
 基地二組ノ六〇〇〇名）ニ基地二組ノ六〇〇〇名）ト基地一組ノ三  
 〇〇〇名）ト区分、東通註 本電隊字種ノ多シ  
 一電信課註 本電二分ノ二未着

通四八三四 員二八八八八四〇三十一通放 海 軍

第十課

緊急發展

一 一〇 受信 〇〇四三 譯始 〇三 〇三 〇三 〇三 航戰 〇四五五四 航本 〇

佛印防備部隊

神ノ池空基地・聯合艦隊口・高營

機密第〇九一八〇五番電



宛 一 K F G B 第二〇掃海隊

通報 聯合艦隊參謀長 高營參謀長 第七二一海軍航空隊 時雨 櫻

各機五八組高雄航空基地ニ到着分散格納終了セリ本日ノ空襲ニ於テ被

害ナシ。

通五 一四〇 丹二△(四七〇五 K C) 高雄

通五三三七

呂二A(八八八四C)三一通

海軍

電令(乙)第二號マニラ海軍運輸部長、マニラ港第五號棧橋倉庫九棟ヲ破壊スベシ。

機密第一〇〇八一二番電

三一通第五分遣隊  
長官・聯合艦隊口・南西方面艦隊各口

作	戰	局	長	官
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一
一	一	一	一	一



電〇四七一七

特選  
作輸〇

第十信  
際



一一〇 受 信 始 二二一九 譯 了 二二三五 電 〇四九〇三

補 空 人 航 本 〇

至 急

練習聯合航空總隊

第二美保空・博多空・第二郡山空・大村空・諫早分遣隊  
大村空・濟州島分遣隊・託開空・西條分遣隊・名古屋空・岡崎分遣隊  
航空本部總務部・人事局・一一聯空・鹿兒島空

機密第一〇一五二三番電

機密第一〇一五二三番電中「西條分遣隊四五名」ヲ削除ス。

通五六一一 呂一Aケ三 B

通	呂	一	A	ケ	三	B



受信一三二〇〇 譯了二五〇〇 電〇五二三七 作概〇  
(三)

二遣支艦隊口

支那方面艦隊口・海南警  
大海參一部

機密第一〇一五二二番電

海警機密第〇八一七〇四番電關聯

第二十三軍ノ兵力海南進出ニ關シテハ船舶ノ船繰リ護衛等ニ關シ打合  
セラ了ス但シ急速完了ノ爲車輛等軍需資材ノ大量輸送ニ關シテハ大型  
荷船二隻程度至急香港ニ回航セシムル要アリト認ム。

通五八六四 呂二A (二四九三〇KC) 上海

一〇〇

電〇六一一〇〇 作 概〇

親 緊 急 展

共

符

● 吳鎮・佐鎮・鎮營・門司在勤武官

● 大海參一部・聯合艦隊口・第一護衛艦隊口・九五一空  
釜山武官・船舶司令部(吳通)

機密第一〇一六四九番電



發 日 參謀長

一月十三日ヨリ二十四日ノ間陸軍兵力約三四、〇〇〇名ヲ門司ヨリ  
釜山ニ輸送スルニ付船舶發航ノ際門司武官ノ關係各部ト密接ニ連絡  
ノ上護衛ヲ實施セラレ度。

通九七八



至急

親展

聯合艦隊司令部

機密第一〇一八二〇番電

機密第一〇一八二〇番電

發 第四師團參謀長 五二師團參謀長  
宛 聯合艦隊參謀長

「エングービ」島ノ補給並ニ現地生産困難ナル狀況ニ鑑ミ更ニ歩兵一  
箇大隊及海軍殘留兵力ノ一部ヲPTニ轉進セシムルヲ適當ト認メラル  
ルニ付然ルベク取計ハレ處。

通五五七二 呂二A(五一二

一一〇受 始信 二〇三八 丁 三三二〇 電〇四八九六 參作 稿 本〇

四 通

局長	
參謀長	
A	L
B	K
	I
J	C
G	H
	D

受信一三四〇〇  
開始一四〇〇  
譯丁一五〇〇  
電〇五二三八  
作衛〇

至急



暗號軍機

機密第一〇一九三二番電

戰圖概報（一月十日）

一〇六三海一〇一—P—三八 二機北東ヨリ侵入「ミナハサ」地區  
高々度ヨリ偵察後北東ニ遁走

三一八三八ボイファイター二機二七〇度ヨリマバンゲニ侵入低空ニテ  
機銃掃射我之ト交戦九〇度方向へ撃退被害ナシ戦果一機撃破（火ヲ  
噴キツツ遁走撃墜概ネ確實）

三七八日夕リネコ島以南警備區域銃爆撃ヲ受ケ直撃ニ依リ深信儀各  
一破壊。

通五九四九 呂一A（一八三六七五K）二一通

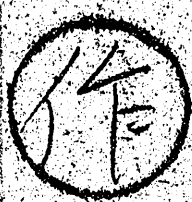
一一一 受信〇二二四 計了〇九〇〇 電〇五〇七九 作概〇

緊急

支那方面艦隊

東京通信隊

聯合艦隊。第二遣支艦隊。海南警



機密第一〇二〇一八番電

宛 大海參一部

大海參謀部機密第〇八一五二四番電ニ依ル上海廣東間作戰兵力輸送ノ爲支

那沿岸航行船舶(二萬五千噸)ヲ充當計畫ヲ進メアリタル所總軍參謀東京

ヨリ歸三連絡ニ依レバ前記船舶ハ中央ニテ統制使用ノ趣ニテ實施上大ナル

支障アルニ付代償船腹配當セララルカ若ハ當方面船舶存置セララルコトニ

取計相成度。

通五七一七 呂四A五三(七四六五KG)上海 石田(機) 澤

受信始 〇〇二四八

譯了 〇四〇〇 電 〇五〇一三

航作本概 〇

香取航空基地

● 二十七航戦下・六艦隊尸

● 大海參一部・聯合艦隊尸・第三航空艦隊・四艦隊尸

機密第一〇二〇五一番電

發 一RFB指揮官

第二次(作戰戰果)偵察T一彩雲二機ノコトニ定ム

十一日一〇〇〇香取發NME着

十二日〇〇〇NME發G(情況)

通五六八四 呂三Aラ六(B) 六空基地

局長	依
課長	P S
A	L
B	工勇
	M
	I
J	機
G	H
	D

作戰特別緊急

一一三 受信 始

一七二五

了 一九五〇

電〇五八三八  
電〇六〇二二

作 概 本〇

三	通第五分	遺	平	山	伊	伊	伊
大	海	參	長	A	B	監	除
口	口	口	口	口	口	口	口

機密第一一一〇五一番電

四分ノ三四

(マニラ)市防衛兵力左ノ通

(陸軍)

(マニラ)防衛隊ノ三ヶ大隊指揮官少佐大隊長内一ヶ大隊ハ臨編大隊ニシテ市内各警備地區ヨリ集結中九日現在一五〇名全方集結セバ約七〇〇名トナル他ノ二ヶ大隊ハ概ネ充實シアルモ昨年十月ノ應召部隊ヨリ編成月一週間程度ノ訓練ヲ實施セルノミ配備地一ヶ大隊ラクナ湖北西側ヨリ附近ノジャングル地帯他ノ一ヶ大隊及臨編一ヶ大隊「バシツク」河下流橋梁地區

通六六五五六六

呂二A(ハハハ四〇)三十一通



この132

112305

は正あり

(一) 林際約八〇〇名北築港北方地區

(二) 三船側兵力未詳ナルモ概シテ少キ見込「マニラ」棧橋東方地區

(三) 四航軍飛行場地區ニ約五〇〇〇名ハ確認シ「アラズ」アルモ敵來  
攻トハ飛行場ヲ破壊シ通報後「マニラ」東方山上ニ撤退

(四) 「マニラ」東方山地兵力河島兵團「マニラ」防衛隊勤兵團へ移動下令ハ  
海軍戰斷部隊「マニラ」地區六ヶ大隊(約六〇〇〇名)基幹約一二  
〇〇〇名(除クコレヒドール)。

三以上ノ狀況ナルヲ以テ「マニラ」市防衛ハ三十一時根司令官在マニ  
ラ陸軍部隊ヲ併シ指揮之ニ任ズルヲ至言ト觀ノ南方軍ニ申入レタル  
處振武集團長ハ異存ナキ模様ナリト尙研究中一若干脱作シアリト觀  
ム「東方」ヨリ「マニラ」灣口ヲ堅守スルト共ニ海軍ハ「マニラ」市街  
地ヲ陸軍ハ山地ヲ占據シテ東西相呼應シテ作戰スルコトヲ極力徹底  
ニ努メ振武集團ニ於テハ山地ヨリ機宜進出作戰スル意志ナリ僅ニ二  
〇乃至三〇名ヨリナル數組ノ切込隊ヲ派遣シ之ニテ專ラ山腹陣地ニ  
ヨリ敵ヲ邀撃漸減スル方針ヲ堅指シアリ糧食約二・三ヶ月分蓄積可

能ノ決定

五 敵軍ニ於テハ海軍側ニ對シ要點防備ニ必要ナル兵力ノミヲ定メ襲撃  
部隊ヲ北方ニ移動スルヲ希望シアルモ海軍トシテハ「マニラ」ノ重  
要性及兵力  
等ノ移動ハ不可能ナル現状等ニ鑑ミ豫定ノ通マ  
ニラテ死守セントス

六 以上諸事項ニ對スル所見アラバ承ハリ度

一 東 通 註 本電誤字極メテ多キ爲遅延 尙四册作成シアルモ

一 電信課註 本電四分ノ一二既配布